

研究・調査報告書

報告書番号	担当
83	滋賀医科大学福祉保健医学講座
題名 (原題/訳)	
Association of life-style with intraocular pressure in middle-aged and older Japanese residents. 中年および高齢日本人住民における眼球内圧と生活習慣の関連性について	
執筆者	
Yoshida M, Ishikawa M, Kokaze A, Sekine Y, Matsunaga N, Uchida Y, Takashima Y.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Jpn J Ophthalmol, 2003; 47(2): 191-8.	
キーワード	
生活習慣、眼球内圧、アルコール、喫煙、コーヒー	
要旨	
<p>目的：生活習慣因子と眼球内圧の関連について検討した。</p> <p>方法：茨城県内の病院で基本健康診断を受けた 649 名の男女から、29 歳から 79 歳までの、高血圧、高眼圧症、または緑内障の未治療者 569 名を対象とした。</p> <p>結果：男性における眼球内圧と有意に正の相関を示したのは BMI (trend P=0.002)、アルコール摂取スコア (trend P<0.001)、喫煙量 (trend P<0.001) であった。女性の場合にも、BMI は眼球内圧と正の相関を示した (trend P=0.071)。コーヒー摂取の効果について検討したところ、年齢調整後の平均眼球内圧、BMI、アルコール摂取スコア、喫煙量は、男性の場合では、コーヒーを飲まない者に比べてコーヒー常飲者で有意に低かった (P=0.016)。</p> <p>結論：日本人における眼球内圧は日々の生活習慣因子によって影響を受けている可能性があることが分かった。</p>	